

説明項目		平成29年度					平成30年度					備考				
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8					
主要工程	：前回の審査会合(5/17)で示した予 ：今回の審査会合(5/31)で予定変更 ：説明完了(コメント対応済) ：説明完了(コメント対応中) ：設備・条文毎で説明中 ：説明未完又は一部未完	補正(＃1) ▼11/24		補正(＃2) ▼2/13		現時点 (5/31)▼										
共通	作成要領															
	品質管理の方法等															
本文	1 要目表（設備リスト、設定根拠に関する説明書、図面とセット）															
	2 基本設計方針	記載方法														
	3 適用基準及び適用規格	各説明書確定後														
添付書類	施設共通の説明書															
	1 設置許可との整合性	基本設計方針確定後														・「No.3」は、添付資料及び補足説明資料のコメント対応に伴い期間変更
	2 自然現象等による損傷防止															
	3 津波への配慮															
	4 竜巻への配慮															
	5 火山への配慮															
	6 外部火災への配慮															
	7 取水口及び放水口															
	8 設定根拠															
	9 技術基準要求機器リスト															
	10 設定根拠(別添)	基本設計方針と併せて実施														
	11 クラス1機器等のSCC対策															
	12 健全性															
	13 火災防護															
	14 溢水防護															
	15 飛散物による損傷防護															
	16 通信設備															
	17 安全避難通路															
	18 非常用照明															
	施設個別の説明書															
	1 原子炉本体の基礎															・「No.5」は、燃料集合体落下時の使用済燃料プールライニングの健全性の確認に伴い、水中での追加試験を実施するため、期間変更
	2 原子炉圧力容器の脆性破壊防止															
	3 使用済燃料貯蔵槽の監視装置並びに計測範囲等															
	4 貯蔵設備の核燃料物質臨界防止															
	5 燃料集合体の落下防止等															
	6 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力															
	7 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力															
	8 流体振動等による損傷防止															
9 原子炉格納容器内の漏えい監視装置の構成並びに計測範囲等																
10 有効吸込水頭																
11 計測装置の構成並びに計測範囲等																
12 原子炉非常停止信号の設定値の根拠																
13 工学的安全施設等の起動信号の設定値の根拠																
14 制御装置に係る制御方法																
15 中央制御室の機能																
16 主排気筒の基礎																
17 放射線管理用計測装置の構成並びに計測範囲等																
18 管理区域の出入管理設備等																
19 中央制御室の居住性に関する説明書他																
20 原子炉格納施設的设计条件																
21 原子炉格納施設の水素濃度低減性能																
22 原子炉格納施設の基礎																
23 非常用電源の出力設定																
24 常用電源設備の健全性																
25 三相短絡容量計算書																
26 緊急時対策所の機能																
27 緊急時対策所の居住性																
耐震性に関する説明書																
1 耐震設計の基本方針															・「No.1」は、添付資料及び補足説明資料のコメント対応に伴い期間変更	
2 耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性についての計算書																
・立坑構造物																・「No.2」は、方針まで説明済み
3 機器類の耐震計算方法																・「No.3」の内、機器の計算方法はコメント回答済みで、配管の計算方法のコメント対応に伴い期間変更
4 機器類の耐震性についての計算書																・「No.4」～「No.6」の内、既設設備の耐震計算結果を順次説明している状況
・気水分離器及びスタンドパイプの応力計算書																
5 配管系の耐震性についての計算書																
6 可搬型重大事故等対処設備等の耐震性についての説明書																
強度に関する説明書																
1 強度評価の基本方針															・「No.1」は、内容確認済み。計算書の説明に合わせて再確認するため、期間を合わせた	
2 機器類の強度計算方法																
3 機器類の強度に関する説明書																
4 配管系の強度に関する説明書																
5 自然事象等への配慮が必要な施設の強度に関する説明書																
・火山への配慮が必要な施設の強度に関する説明書(建屋強度計算書)															・「No.2」の説明は完了し、「No.3」、「No.4」の説明完了待ち	
その他計算書																
1 安全弁等の吹出量計算書															・「No.2」は、「中央制御室の居住性」、「緊急時対策所の居住性」と関連するため、期間を合わせた	
2 生体遮蔽装置の放射線の遮蔽等についての計算書																
計算機プログラム(解析コード)の概要																
図面																